

# NYマーケットレポート (2024年5月1日)

## 2024年5月1日 (水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	38,274.05	-131.61	14.37%
ハンセン指数	休場		#VALUE!
上海総合	休場		#VALUE!
韓国総合	休場		#VALUE!
臺ASX200	7,569.95	-94.13	-0.27%
シンガポールST	休場		#VALUE!
インドSENSEX	休場		#VALUE!

\* 中国市場は労働節のため休場

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	8,121.24	-22.89	5.02%
仏CAC40	休場		#VALUE!
独DAX	休場		#VALUE!
スペインIBX35	休場		#VALUE!
イタリアFTSE MIB	休場		#VALUE!
トルコ・イスタンブール100	休場		#VALUE!
ロシアRTS	休場		#VALUE!
南ア全株指数	休場		#VALUE!

\* 欧州はメーデーのため休場

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	37,903.29	+87.37	0.57%
S&P500	5,018.39	-17.30	5.21%
NASDAQ	15,605.48	-52.34	3.96%
南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	21,728.54	+14.00	3.67%
メキシコ・ボルサ指数	休場		#VALUE!
ブラジル・ボベスパ指数	休場		#VALUE!

\* ブラジル市場は労働記念日、メキシコ市場はメーデーのため休場

### 5/2 経済指標スケジュール

08:50	【日本】日銀金融政策決定会合・議事要旨[3月18-19日分]
08:50	【日本】4月マネタリーベース
10:30	【オーストラリア】3月貿易収支
10:30	【オーストラリア】3月住宅建設許可件数
14:00	【日本】4月消費者態度指数
15:30	【スイス】3月実質小売売上高
15:30	【スイス】4月消費者物価指数
16:00	【トルコ】4月製造業PMI
16:50	【フランス】4月製造業PMI
16:55	【ドイツ】4月製造業PMI
17:00	【欧州】4月製造業PMI
16:50	【フランス】4月製造業PMI
17:30	【香港】1Q GDP
20:30	【米国】4月チャレンジャー人員削減数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】3月貿易収支
21:30	【米国】1Q非農業部門労働生産性
21:30	【カナダ】3月国際商品貿易
23:00	【米国】3月製造業受注指数
23:00	【米国】3月耐久財受注

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	155.24	157.99	155.19
EUR/JPY	166.33	168.66	166.29
GBP/JPY	194.42	197.43	194.37
AUD/JPY	101.18	102.75	101.16
EUR/USD	1.0714	1.0733	1.0650
BRL/JPY	30.304	30.304	30.159
RUB/JPY	1.633	1.648	1.631

Commodity	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	2,311.00	+8.11	10.46%
NY 原油	79.00	-2.93	10.77%
CBOTコーン	450.75	+4.00	-4.25%
CRB指数	285.44	-6.020	8.19%
ドル指数先物	105.755	-0.466	4.33%
VIX指数	15.39	-0.26	23.61%

Crypto Currency	終値	前日
CME Bitcoin (先物・期近)	57670	60085
XRP (Ripple) [BSTP]	0.514	0.500
Ethereum [BSTP]	2942.13	2963.12
Bitcoin Cash	415.77	431.50

オセアニア国債利回り	終値	前日
オーストラリア10年債	4.505%	4.420%
ニュージーランド10年債	4.904%	4.884%
日本国債利回り		
2年債	0.284%	0.289%
10年債	0.891%	0.879%
30年債	1.961%	1.945%

欧州国債利回り	終値	前日
英国 10年債	4.365%	4.345%
フランス 10年債	休場	3.051%
ドイツ 10年債	休場	2.582%
イタリア 10年債	休場	3.909%
スペイン 10年債	休場	3.348%
米国債利回り		
2年債	4.960%	5.035%
10年債	4.628%	4.680%
30年債	4.749%	4.784%

### 5/2 主要会議・講演・その他予定

・マックレム カナダ中銀総裁 講演

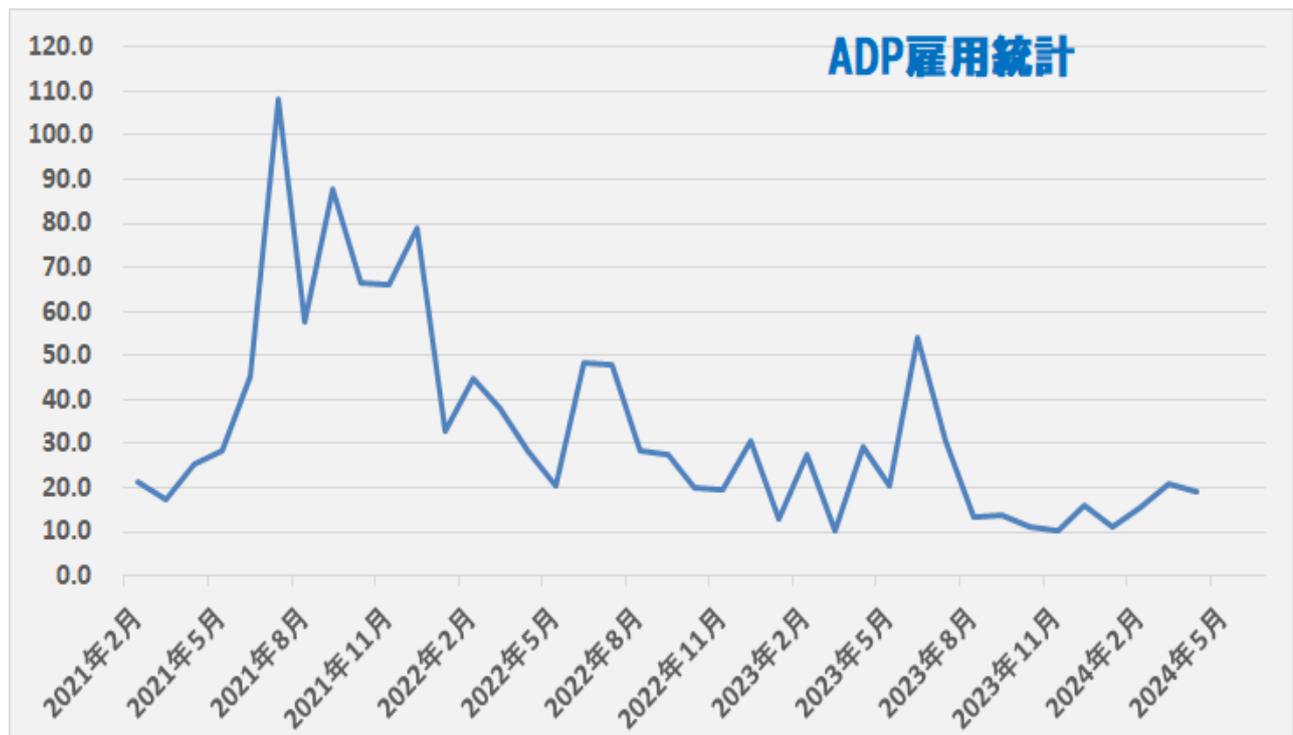
米第1四半期決算～アップル、その他

## NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

### 米国の主要な経済指標の結果

4 月 ADP 雇用統計 19.2 万人（予想 18.0 万人・前回 18.4 万人⇒20.8 万人）

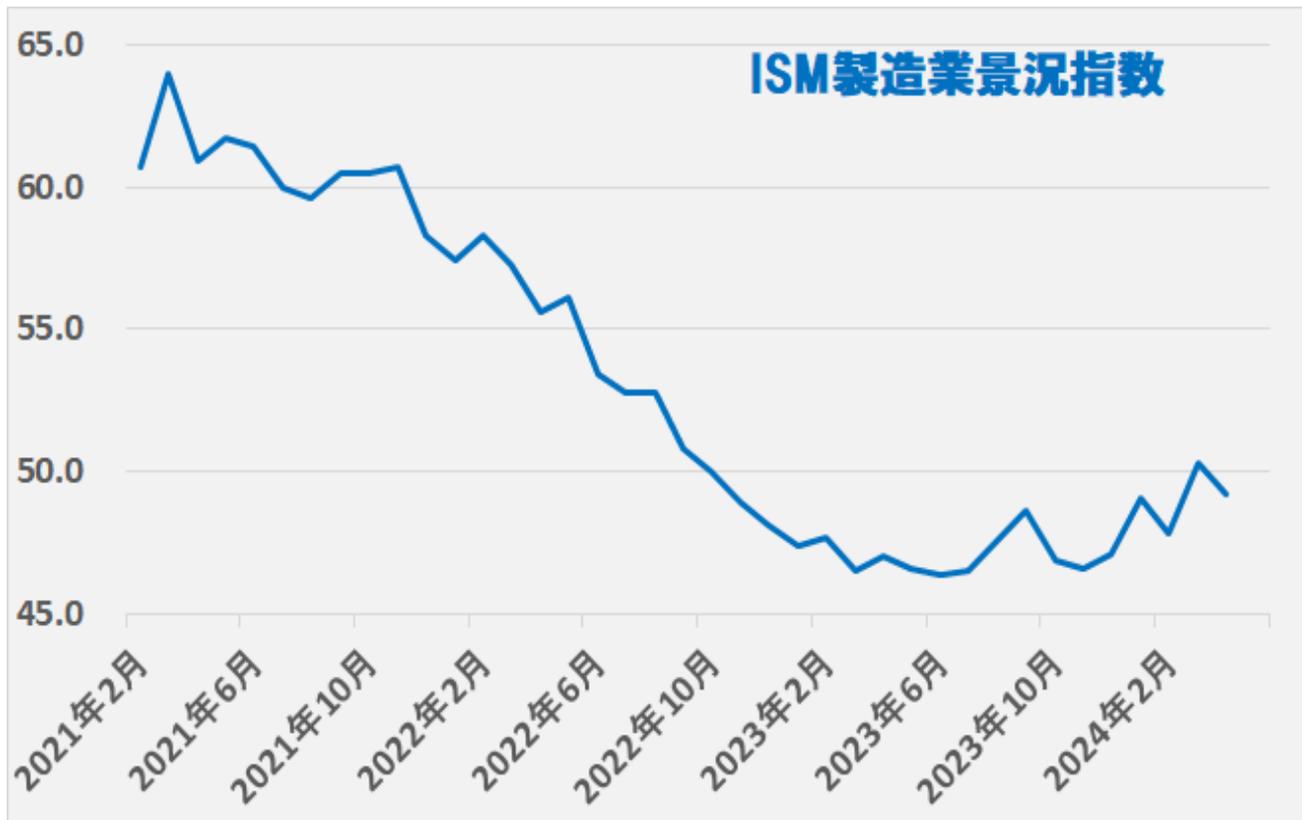
4 月米 ADP 雇用統計では、雇用者数の伸びが市場予想を上回り、労働需要が活発であることが示された。娯楽・ホスピタリティーや建設業で雇用が大きく増えたものの、情報産業では雇用が減少した。また、賃金上昇率は鈍化した。



データを基に SBILM が作成

**4月 ISM 製造業景況指数 49.2 (予想 50.1・前回 50.3)**

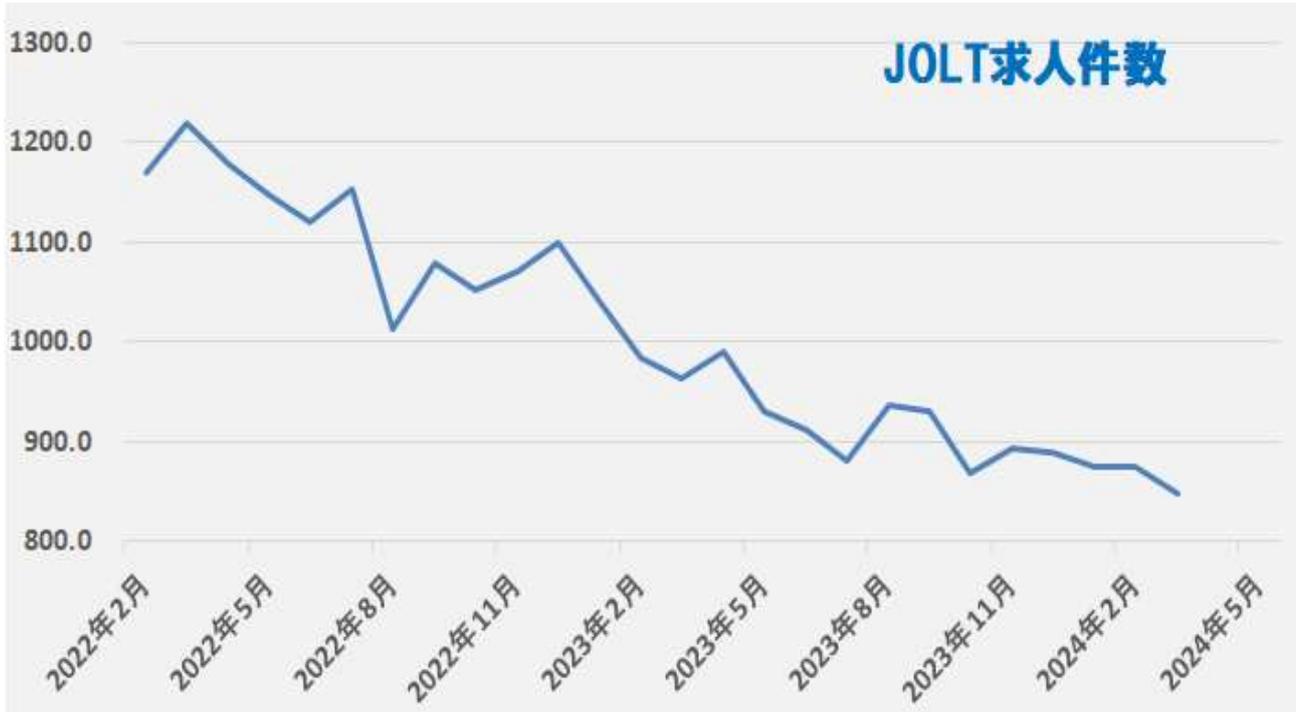
4月の米ISM製造業総合景況指数は、市場予想を下回り、前月から1.1ポイント低下した。また、製造業の景気拡大・縮小の判断基準となる50を2ヵ月ぶりに下回った。新規受注が49.1(前月51.4)、生産が51.3(54.6)と前月から低下。仕入れ価格は60.9(55.8)、雇用は48.6(47.4)と上昇、在庫は48.2で横ばいだった。4月は9業種が景況拡大を、7業種が業況縮小を報告した。



データを基に SBILM が作成

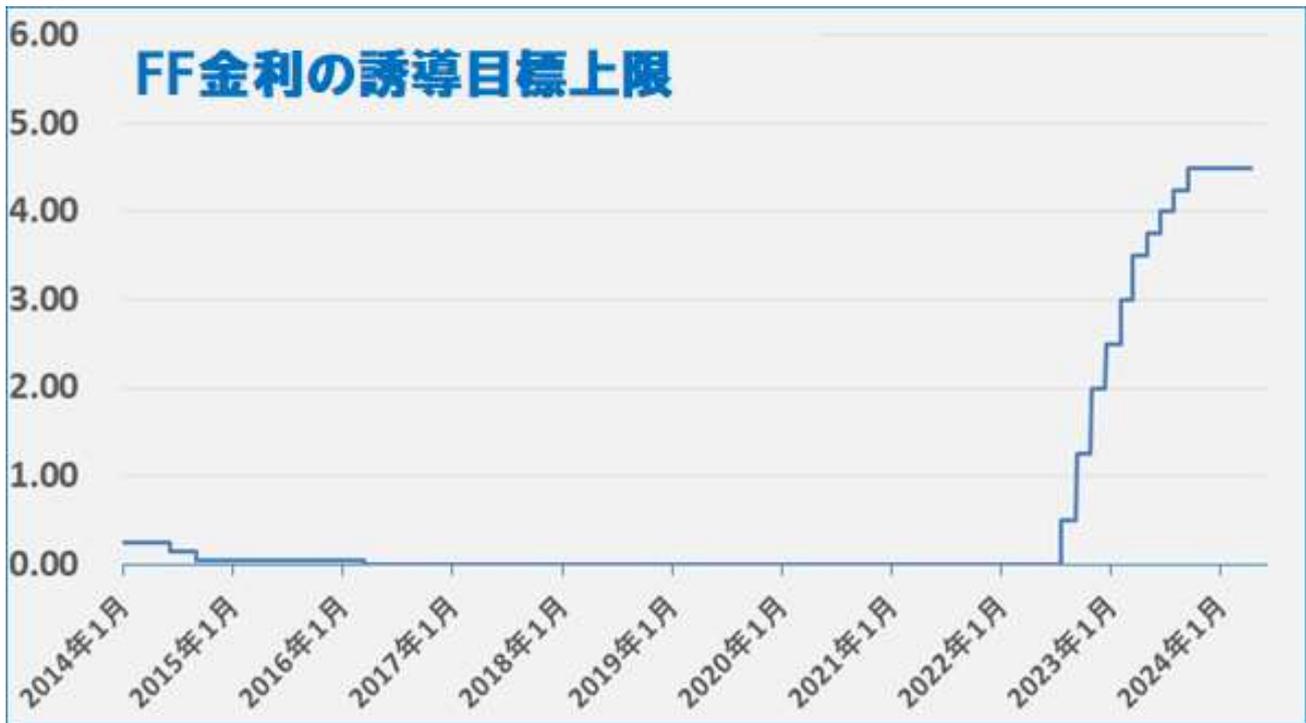
3月 JOLT 求人件数 848.8 万件（予想 868.0 万件・前回 875.6 万件⇒881.3 万件）

3月の米 JOLT 求人件数は、市場予想を下回り、3年ぶりの低水準となった。労働市場で軟化傾向が進んでいることが示された。求人減少は建設や金融、保険に集中した。また、自発的離職者の割合である離職率は 2.1% となり、2020年8月以来の低水準となった。



データを基に SBILM が作成

FOMC 政策金利 5.25%-5.50% (予想 5.25%-5.50%・前回 5.25%-5.50%)



データを基に SBILM が作成

### FOMC の主な声明

- ・ 最近の指標は経済活動が堅調なペースで拡大していることを示している
- ・ 雇用の伸びは引き続き力強く失業率は依然低い
- ・ インフレ率はこの1年で緩和したが依然高止まりしている
- ・ ここ数カ月間委員会の2%のインフレ目標に向けてさらなる進展は見られていない
- ・ 雇用最大化と長期的な2%のインフレ率の達成を目指す
- ・ 6月から債券の月間償還上限を600億ドルから250億ドルに引き下げることで保有証券の減少ペースを鈍化させる
- ・ 金融政策の適切な姿勢を評価するに当たり委員会は今後もたらされる経済見通しに関する情報の意味を引き続き監視する
- ・ 今回の金融政策決定は全会一致

## パウエル FRB 議長の会見での主な発言

- ・インフレは依然として高すぎる
- ・2%の目標に戻すことに尽力する
- ・経済は目標に向かって大きく前進した
- ・インフレはさらなる進展の欠如を示唆
- ・インフレは顕著に緩和したが依然として目標の2%を上回っている
- ・短期的なインフレ期待が高まっている
- ・金融政策は時間とともに十分に抑制的になっていく
- ・金利がピークにあるかどうかはデータ次第
- ・成長もしくはインフレでスタグフレーション想定せず
- ・次の行動が利上げになる可能性は低い
- ・利下げの道と利下げをしない道がある

## ダウ平均は反発、ナスダックは続落

米株式市場では、FOMCの結果発表とFRB議長の会見を控えて様子見ムードも強く、主要株価指数は序盤から小動きの展開が続いた。FOMCでは、声明で米国の経済活動は堅調なペースで拡大との見方が示されたことから、主要株価指数は堅調な動きとなったものの、パウエルFRB議長が会見で「利下げの確信を得るには想定より時間かかる見通し」との見方を示したことから、終盤にかけて下げが加速した。ダウ平均は、序盤から小動きの展開が続いたが、FOMC後に一時前日比533ドル高まで上昇した。しかし、その後は下落に転じて、87.37ドル高(+0.23%)で終了。一方、ハイテク株中心のナスダックは52.34ポイント安(-0.33%)で終了した。



セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	ヘルスケア	0.97%	1	J&J	4.56%
2	素材	0.58%	2	アマゾン	2.29%
3	テクノロジー	0.24%	3	ボーイング	2.16%
4	金融	0.16%	4	3M	2.00%
5	消費財	0.16%	5	マイクロソフト	1.44%

データを基にSBILMが作成

## ドル円・クロス円は急速な下落

NY市場では、序盤に発表された4月の米ADP雇用統計が市場予想を上回ったことから、ドルは底固い動きとなった。ただ、米長期金利が低下したことや、その後に発表されたISM製造業景況指数、JOLT求人件数が冴えない結果となったことから、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ドル/円は、ADP後の高値157.92から157.38まで下落したものの、FOMCの結果発表を控えて底固い動きとなり、157.73まで値を戻した。FOMCでは、金利が据え置きとなり、声明の内容もほぼ予想通りとなったが、パウエルFRB議長が会見で「次の動きが利上げになる可能性は低い」との見方を示したことから、ドルは主要通貨に対して下落した。その後、円買い介入と見られる円買いフローが持ち込まれ、ドル円・クロス円は急速が下落となり、ドル/円は155.17まで下落した。さらに、ウェリントン市場に入るとドル/円は154.15まで下落した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。